

YCU 長期留学プログラム 派遣学生報告書

氏 名	KO	学部・学科	国際教養学部国際教養学科
学 年	3 年	派遣国	台湾
派遣大学	国立台湾科技大学		
期 間	2025 年 8 月 26 日～ 2026 年 6 月 15 日		

【生活編】

1. 滞在先

滞在形態	学内の学生寮 / 学外の学生寮 / アパート / その他（シェアハウス）					
部屋	個室 / 2 人部屋 / 3 人部屋 / その他（ ）					
設備	*共同＝◎ 部屋にあるもの＝○					
	トイレ	◎	シャワー	◎	洗面所	◎
	キッチン	◎	冷暖房	◎	冷蔵庫	◎
滞在費	約（ 50000 ）円 *1 ヶ月あたりの寮費や家賃					
移動	（ 電車 ）で、約（ 25 ）分 *大学までの所要時間と移動方法					

転居した場合は、上記表をコピーして滞在先 2 の内容を追加してください。

2. 日常生活

(1) 1 ヶ月の生活費

項 目	金 額	内 訳
食費	2 万円	基本的に外食で、2 食で 600 円ほど
学用品購入費	1 万円	中国語授業の教材費 3 クラス分
交通費	6000 円	定期一か月 6000 円
交際費	3000 円	イベント参加費など
その他	円	

合計

3 万 9 千円

*概算で記録してください。

(2) 治安状況・危険地域など

台北市の治安は非常に良いです。夜でもかなり人が歩いており、外灯も多いため、夜遅くの帰宅でも安心です。しかし、バスやバイクの運転がかなり荒いため、信号が青でもしっかり確認して渡るようにしています。

桃園や新竹の少し田舎の方ではバイクがさらに多く、柄の悪い人が少し多いそうです。

3. 海外旅行損害保険について

保険の名称	学研災付帯海学 / その他 ()		
加入期間	(10) ヶ月間	保険料	() 円

4. 滞在都市についての情報

滞在都市／町 (**台北市**)

台北の交通はとても便利です。MRT (日本の地下鉄に相当) が市内をカバーしており、日本ほど路線が複雑でないため、初めての方でも迷わず使えます。遅延や運行停止もほとんどなく、快適に移動できます。

バスも充実していて、到着時刻をリアルタイムで確認できるアプリがあるので、ぜひインストールをおすすめします。また、月額約 6,000 円の定期券を購入すれば、台北市内はもちろん周辺エリアまで MRT とバスが乗り放題になりとてもお得です。

治安は非常に良く、台北駅周辺でも夜間に安心して出歩けます。ただし、バイクの交通量が多いため、道路を渡る際は必ず左右をしっかり確認しましょう。また、MRT やバス車内での飲食は禁止されており、違反すると約 3 万円の罰金が科せられます。乗車前に飲み物を飲み終えるよう心がけてください。

【学業編】

1. 大学情報

大学	国立台湾科技大学	所在地	台北市
最寄空港	松山空港	空港からの距離	約 6.5 キロメートル
空港⇄大学	(MRT で約 30 分) *移動手段		
学生数	12,000 名以上	留学生数	1500 名以上
学部	[工学部] 機械工学科・材料科学工学科・建築工学科・先進テクノロジー全英語プログラム・グローバル開発工学士プログラム [電機情報学院] 電子工学科・電機工学科・情報工学科 [管理学院] 工業管理学科・企業管理学科・情報管理学科 [デザイン学部] デザイン学科・建築学科 [人文社会学院] 応用外国語学科 *留学先大学の保有する学部をすべて記載してください。		
学部/専攻	[人文社会学院] 応用外国語学科 *留学中に所属した学部/専攻を記載してください。		

2. 週間スケジュール

① (9)月～(12)月

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前			Multiliteracies problem-based English reading and writing		
午後			Mandarin Chinese practical level4	Exploring Taiwan natural resources conservation and management	University social responsibility advocacy:self media practice and content development

② (2)月～(6)月

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前		Sex, Gender, and Bodies			
午後	Mandarin Chinese practical level4		World Englishes and cultures	Mandarin Chinese practical level3	

3. 履修内容

科目	Multiliteracies problem-based English reading and writing		
履修期間	9月～12月	単位数	3
授業内容／形態	英語を教授言語として PBL 形式で読解・ライティングを学ぶ授業です。批判的思考力や多文化リテラシーの育成を目指しながら、SDGs（特に持続可能なまちづくり）をテーマに探究します。最終的には公共政策提案コンテストや SDGs 英語ライティングコンテストへの参加を通じて、学んだことを実践する機会があります。		
成績	A		
YCU 振替予定	科目	海外留学科目群	
	単位数	3	
	担当教員		

科目	Mandarin Chinese practical level2		
履修期間	9月～12月	単位数	3
授業内容／形態	日常生活に関する基本的なコミュニケーション能力を身につけることを目的とした授業です。短い会話の内容理解や、簡単な表現で理由・説明を述べる力を養います。リスニング・スピーキング・リーディング・ライティングの4技能をバランスよく学びます。 扱うトピックは、旅行・交通、趣味・余暇、食べ物、住居、将来の計画、電話表現、お祝いの言葉、天気、比較表現、体の症状など、日常生活に密着した内容が中心です。		
成績	A		
YCU 振替予定	科目	中国語教養実践	
	単位数	3	
	担当教員		

科目	Exploring Taiwan natural resources conservation and management		
履修期間	9月～12月	単位数	2
授業内容／形態	台湾の自然環境（植物・動物・地形など）をテーマにした授業です。各分野の専門家をゲスト講師として招き、台湾の生物多様性について学びます。また、自然と台湾社会との関係——伝統、消費、象徴、保護・管理といった現代的な課題についても議論します。		
成績	A		

YCU 振替予定	科目	特講（国際教養学部留学科目）
	単位数	2
	担当教員	

科目	University social responsibility advocacy:self media practice and content development		
履修期間	9 月～12 月	単位数	2
授業内容／形態	大学の社会的責任をテーマに、学生自身がビデオポッドキャストを制作しながら学ぶ実践型の授業です。技術的なノウハウよりも「意味のあるコンテンツをいかに作るか」に重点を置き、リサーチデザインやインタビュースキルを習得します。学生は能動的な調査者として、大学内で USR に関する議論や啓発活動を起こすことを目指します。		
成績	A		
YCU 振替予定	科目	海外留学科目群	
	単位数	2	
	担当教員		

科目	Mandarin Chinese practical level4		
履修期間	2 月～6 月	単位数	3
授業内容／形態	日常生活での会話を中心とした中級中国語の授業です。聞く・話す・読む・書くの 4 技能を強化し、簡単な中国語で日常的な用件をこなしたり、自分の意見を表現できるレベルを目指します。扱うトピックは、道案内、交通、学習、仕事、人間関係などです。		
成績	A+		
YCU 振替予定	科目	中国語教養実践	
	単位数	3	
	担当教員		

科目	World Englishes and Cultures		
履修期間	2 月～6 月	単位数	2
授業内容／形態	「世界の英語（World Englishes）」をテーマにした概論的な授業です。英語の歴史的・社会的・政治的側面を踏まえながら、文化言語学や言語人類学、談話分析などの観点から英語と文化の関係を多角的に考察します。授業は「World Englishes の概観」「文化言語学との関係」「英語と文化」		

	「今後の動向と課題」の4テーマで構成されています。最終的には、英語の「所有権」や世界言語としての役割をめぐる議論に批判的に向き合い、英語が各文化に与える影響を分析する力を養うことを目指します。	
成績	A+	
YCU 振替予定	科目	特講（国際教養学部留学科目）
	単位数	2
	担当教員	

科目	Mandarin Chinese practical level3		
履修期間	2月～6月	単位数	3
授業内容／形態	日常生活に関する基本的なコミュニケーション能力の習得を目的とした授業です。短い会話の理解や、簡単な表現で理由・説明を述べる力を養い、リスニング・スピーキング・リーディング・ライティングの4技能をバランスよく学びます。 扱うトピックは、住居探し、将来の計画と経験、電話表現、お祝いの言葉、天気、比較表現、体の症状などです。		
成績	A+		
YCU 振替予定	科目	中国語教養実践	
	単位数	3	
	担当教員		

<総括>

(1) 全体的な感想

*留学生生活全体を通しての気づきや学びをまとめてください。(800 字以上)

約 1 年間の台湾留学を終えて、この留学を一言で表すなら「良い意味で毎日忙しく充実した留学」です。振り返ると、苦勞したことも多かったですが、それ以上に得たものが大きく、非常に充実した 1 年間でした。

留学中に最も苦勞したのは、現地への「適応」です。台湾には日本の食品や日用品が多く輸入されており、文化的にも日本と似た部分が多いため、生活環境としては非常に過ごしやすい国です。しかし、言語の壁が適応を難しくする最大の要因でした。私は高校生のときにカナダへ留学した経験があり、その際は英語でコミュニケーションをとっていたため、比較的スムーズに現地に溶け込むことができました。一方、台湾留学では中国語を学び始めてまだ日が浅く、渡航時点での語学力はかなり低い状態でした。日常会話もままならない中でのスタートは、思いのほか孤独を感じることもありました。

しかしその一方で、中国語を学ぶこと自体の楽しさも強く感じました。声調や発音のルール、そして日本語にはない繁体字など、学ぶたびに新しい発見があり、難しさと面白さが隣り合わせの言語だと感じています。帰国した今も、もっと深く学び続けたいという気持ちが続いています。

台湾での生活の中で印象的だったのは、台湾人の友人たちとの会話です。彼らは政治の話をととても自然に、そして熱心にします。政党の方針や社会問題について自分の意見をしっかり持っており、政治への関心と理解の深さに驚かされました。日本では政治に関心を持たない人も多く、友人同士で政治の話をする機会はあまりありません。この違いは、台湾が歩んできた歴史と無関係ではないと感じています。

台湾にはもともと 16 もの民族が暮らしており、長い歴史の中で文化・言語・アイデンティティが幾度となく脅かされてきました。1947 年に起きた 228 事件をはじめ、国民党政権による弾圧の歴史は、台湾の人々にとって今も生きた記憶です。そうした経験が、自分たちの社会を自分たちで守るという意識を育て、政治への高い関心につながっているのだと思います。また、その抵抗の歴史が多様性を重んじる文化の土台となり、アジアで初めて同性婚を認めるという決断にも表れていると感じました。

日本との違いを考えたとき、言語やアイデンティティを強制的に奪われるという経験を日本社会はほとんど経験していないことに気づきます。だからこそ、多様性の価値や、社会を自分ごととして捉える感覚が育ちにくいのかもかもしれません。台湾での生活はそういったことを改めて考えさせてくれました。

この 1 年間は、語学の習得にとどまらず、歴史・文化・社会の在り方を自分の肌で感じる時間でした。

(2) 今後の展望 *この経験を今後どのように活かしていきたいかをまとめてください。(400 字以上)

約 1 年間の台湾留学を経て、今後は日本での就職活動に臨んでいます。留学を通じて得た最も大きな気づきは、多様性を理解するためにはまず「その国を知ること」が不可欠だということです。台湾では、小さな子どもでも自国の政治や歴史をよどみなく話す姿を何度も目にしました。それは台湾が歩んできた歴史と深く結びついており、国を知ることがアイデンティティの形成にいかに重要かを実感させてくれました。

この経験から、日本のことだけでなく、海外の政治や国際情勢を幅広く学び続けたいという意識が強まりました。私は国際教養学部で文化・社会・心理を横断的に学んでいますが、どのような仕事に就いたとしても、問題が発生した際には多角的な分析力が求められます。そのとき、国際情勢への理解があれば、物事の背景や今後の動きをより深く読み解くことができると思っています。留学で培った「異なる視点から物事を見る力」を、社会に出てからも実践的に活かしていきたいです。

また、台湾で出会った中国語との縁も、引き続き大切にしていきたいと思っています。声調や繁体字など、日本語とは全く異なる要素が多く、まだまだ学ぶべきことは山積みですが、だからこそ面白いとも感じています。帰国後も学習を続け、いつかは中国語を仕事の場でも活かせるレベルを目指したいです。

(3) 後輩へのアドバイス *留学を希望する学生にむけてのアドバイスをお願いします。(400 字以上)

語学留学を考えている方は、渡航前からできる限り中国語を学んでおくことをおすすめします。台湾ではさらに高度な中国語を身につける環境が整っているため、基礎力があればあるほど現地での成長スピードが上がります。

留学中は、やりたいと思ったことには積極的に挑戦してください。1 人で行動するのが怖いと感じることもあるかもしれませんが、台湾の人々はとても優しく、外国人がチャレンジしている姿を見ると自然と助けてくれます。外国人であることを恐れず、むしろその特権を積極的に活用しましょう。

台湾の歴史や政治を深く学びたい方には、大学の図書館を活用することをおすすめします。台湾の研究者が書いた書籍が豊富に揃っており、正しい視点で台湾を理解するための貴重な資料が手に入ります。

持ち物についてもいくつかアドバイスがあります。日用品は日本から持参することをおすすめします。台湾では日本製品が多く販売されていますが、価格は日本よりも割高なことが多いです。また、台湾は虫が日本よりも多いため、現地のスーパーで害虫スプレーを購入しておくとう安心です。さらに、夏は屋外の暑さと室内の強冷房による温度差で体調を崩しやすいため、普段から飲み慣れている薬を日本から持っていくことを強くおすすめします。